

## Support Kids Program

### 第1回 子どもの療養環境改善寄付金 寄付金贈呈先活動



#### あいち小児保健医療総合センター(愛知)

##### 『わくわくカートで かーつとぼそう!!』

カート遊園地やショッピングセンター等に置かれている乗り物型カートを病院内で利用することにより、長時間持続して点滴を受けている患児に、検査室及び手術室への移動に楽しみの時間を与え、診療のストレスの軽減を図りました。



#### メンタルケアなないろの森(愛知)

##### 『僕の絵本』『私の絵本』

絵本の読み聞かせをするのではなく、子ども達が自分で絵本を作成。絵を描くことや色を塗ることによって、世界にひとつだけの「絵本作り」をし、抱えている不安や悩みを解放し、心から元気になってもらうことを目的に愛知県内の病院にて実施しました。



#### 大阪大学医学部付属病院小児病棟(大阪)

##### 『ドイツ、ニュンベルク市のクノフィッシュ子ども病院院内学級と

##### 「発達援助の輪“幼稚園ごっこ”』

予算がない状況でボランティアスタッフの工夫だけでやりくりしていた院内の“手作り幼稚園”でしたが、寄付金により、今までできなかった新たな活動として、教材や作品展示用ボードを購入し、長期入院する子どもたちとドイツの病院の子どもたちとの国際交流などに取組みました。



#### 順天堂大学医学部付属順天堂医院(東京)

##### 『小児病棟における子ども・家族支援の充実を目指して』

チャイルド・ライフ・スタッフの配置により、患児への遊び支援や家族への心理支援を行っています。寄付金は、患児が遊ぶゲームなどのおもちゃや、絵本等の購入、そしてガイドブックの制作等、活動資金に充てられました。



#### 藤田保健衛生大学第一教育病院(愛知)

##### 『年長児や小学生も楽しく遊べるプレイルームを!』

プレイルームに遊びにくる入院中の子どもは、これまで年少以下がほとんどの状況でした。寄付金を活用して、年長児や小学生など幅広い子どもたちでも遊べる環境になるような、家庭では準備しにくい大型のおもちゃを購入しました。子どもたちの遊び場の環境を整えることで、子ども達のプレイルームの利用状況にも確実に変化が見られ始めました。



#### 愛知国際病院(愛知)

##### 『わかっているけれどこわくない!』

小児科医により「インフルエンザの予防」や「発熱」についてのDVDを作成。診察までの待ち時間に見てもらうことによって、混雑時の診察においての説明時間の短縮や、病気への保護者の理解などにつながり、大変好評を得ています。